

## 所内研修⑦ 「保育参観の視点」

1月6日(水)に所内研修として、大城美恵子指導主事を講師に、「保育参観の視点」と題して講話を行いました。

来週からスタートする長期教育研究員の検証保育参観の視点を小中学校の教育研究員に上原亜矢教諭の実際の検証保育の様子から事例を取り上げながら、丁寧にお話ししていただきました。

検証保育参観の留意点として「保育参加ではなく、保育参観を心がけてほしい」、「子どもの様子、子どもの表情、発することば、遊びの様子、行動の様子を丁寧にみてください」と具体的に示されました。

1月29日に行われる上原亜矢教諭の検証保育において、何をどのように参観すればよいのか、明確になった所内研修でした。

## 【研修の概要】

## 1 検証のねらい

- (1) 友達と一緒に、共通のイメージが実現できるような環境構成と援助の工夫をする。
- (2) お互いの思いや考えを出し合いながら相談したり、工夫したりできる環境構成と援助の工夫をする。

## 2 保育参観の視点

- (1) 思いを伝え合いながら友達とかかわり、工夫して遊びを楽しむ姿が見られたか。
- (2) 幼児の思いや考えを受け止め、幼児同士をつなぐような仲立ちをしているか。(教師の支援)
- (3) 友達と一緒に共通のイメージや目的をもって遊ぶ楽しさを味わうために教材(素材)遊具(こま・けん玉等)用具の準備がなされているか。

## 3 検証保育参観の留意点

- ・参観者の積極的な話しかけを控える。
- ・幼児から声をかけられた場合は必要に応じて答える。
- ・幼児の活動の妨げにならないようにする。
- ・**保育参加ではなく、保育参観**を心がける。



写真1 研修の様子



写真2 研修を終えて

## 教育研究員の感想 (研修日誌から)

美恵子指導主事から、検証保育参観の視点について、小中学校の先生にも伝わるような内容で説明して頂きました。子ども達の思いや主体は本当に発揮できていたのかなど、反省する所もありますが、課題を一つ一つ改善していき目指す子ども像に近づけるようにしていきたいです。美恵子指導主事が自信がもてるように、褒めて認めて下さるように、私も子ども達一人一人を認めてあげたいです。(上原亜矢)

美恵子指導主事が検証保育参観の視点について分かりやすく教えて下さいました。教師が、幼児の思いを受け止めて、幼児同士をつなぐような仲立ちをしているか。友だちと一緒に共通のイメージや目的をもって遊ぶ楽しさを味わうために教材、遊具、用具の準備がなされているか、に視点を当てて参観したいと思えます。また、保育参加ではなく、あくまでも参観ということを中心に、しっかり見ていきたいと思えました。亜矢先生の検証保育が楽しみです。(比嘉頼子)

保育参観の視点では検証保育1回目～今までの流れを説明して下さい、子ども達への援助や環境の工夫をどのように行っているかが分かりました。写真で説明してくれたので「友達との関わりで教師の動き、どのような環境なのか」などという視点で参観すればいいかが参考になり、1/29の検証保育でも見逃すことがないようにしたいです。ただ、カッターナイフは家庭で使わせないからこそ学校や幼稚園でもっと使わせなければいけないんじゃないかと思いましたが、ケガをさせると今の時代は大変なことになるというのも分かります。葛藤です。(久高友弥)

美恵子指導主事の保育参観の視点についての講話では、心と体と頭を使って遊びを体験している写真から自分なりに表現したり、工夫したりして遊びの楽しさを味わっている子どもたちの姿を垣間見ることができました。また、検証保育参観の留意点も分かりやすく示されていたので、亜矢先生が子ども達と自然体に保育できるように参観したいと思います。(富名腰由紀)

美恵子指導主事からの参観の視点はとても参考になりました。これまで保育参観の視点を踏まえての説明プレゼンもすごく参考になりました。(波照間生子)